

南小便り

土曜日は、資源ごみ回収でお世話になりました。ありがとうございました。その後です。河高交流センターで開かれていた「お宝発見」という特別展を見に行くために車で学校北の坂道を下っていました。途中、3人の子が、道沿いの草むらで何やらやっていました。車を停めて、「何かおるんか？」と聞くと、「カニ。」「カニ〜」「カニ！」と三人ともが答えてくれました。崖の草むらの中を細い溝が通っていて、そこで見つけたようです。一人が、捕まえたカニをつかんで振り上げて見せてくれました。道をはさんでのことなので詳しくは見えませんが、サワガニだと思います。「これ食べれるで〜」と嬉しそうです。えっ、食べたことがあるのでしょうか。サワガニには寄生虫がいますので、必ず唐揚げか何かにしてよく火を通してくださいね。すぐ近所に住んでいる3人兄弟（一人は女の子）です。捕まえたカニを持って帰って、

プール開き。いよいよ夏です。安全に楽しく、心と体を鍛えましょうね。

お家の方にどんな話をするのでしょうか。その後、飼うのでしょうか。食べるのでしょうか。楽しい気分でハンドルを握り直しました。

生き物でいえば、つい先日2年生教室で、飼育箱の周りで数人の子がワイワイとやっていました。

「モンスケとヒョウとツマ」。近づいたわたしに話してくれました。なんのことやら……。どうやら、箱の中にいる3匹の虫に名前をつけたようですが。困り顔のわたしに、箱の中にいるのはツマグロヒョウモンという蝶のさなぎと毛虫だと教えてくれました。それにしても、なんと分かりやすいネーミングでし

よう。3匹の名前を聞いたときに気づいてやるべきでしたね。今か今かと、蝶になるのを楽しみにしているようです。ツマグロヒョウモンの鮮やかな羽の模様は、毒を持っている蝶の真似をしていることは知ってる？

この季節になるといろいろな虫が子どもたちの身の回りに現れてきます。子どもたちは、そんな虫を通して知的な好奇心を育て、知恵や知識を膨らませていきます。それは、大人にとっても新たな発見や記憶の覚醒になります。ともに楽しみましょう。ともに生きましょう。先ほどのサワガニの寄生虫も、ツマグロヒョウモンの擬態も、スマホで調べながら思い出したことと、初めて知ったことです。

掲示委員会と園芸委員会が、よりよい南小づくりのための発表をしてくれました。



どれがモンスケ？



6年生が、修学旅行を分かりやすく、愉快地に紹介してくれました。さすがですよ。

